

ハムレット

製作・監督ローレンス・オリビエ／原作ウィリアム・シェークスピア

撮影デスモンド・ディキンソン

世紀の名優ローレンス・オリビエがシェークスピア文学の最高峰に
情熱のすべてをかけて挑んだ不朽の名作！

蒼白い光を放つ
エルシノアの城には
愛と憎悪が渦巻いていた！



＜アカデミー賞5部門受賞＞

作品賞／主演男優賞

美術監督賞／装置賞／衣裳デザイン賞

■ベネチア映画祭グランプリ／女優演技賞

■ニューヨーク・タイムス・ベストテン第1位

■英フィルム・アカデミー世界最優秀映画賞

■文部省特選(1969年度)

ローレンス・オリビエ

ジーン・シモンズ

エイリーン・ハーリー

ベイジル・シドニー

Laurence Olivier
presents
HAMLET
by William Shakespeare

提供／インターナショナル・プロモーション 

「生きるべきか、死ぬべきか……」
ハムレットの苦悩が、今鮮烈に甦える
オリビエの最高傑作！

HAMLET

提供 インターナショナル・プロモーション

ハムレット

スタッフ

製作・監督……………ローレンス・オリビエ
共同製作……………レジナルド・ベック
作曲……………ウィリアム・ウォルトン
撮影……………{ デスモンド・ディキンソン
 レイ・スタージェス

キャスト

ハムレット……………ローレンス・オリビエ
オフェリア……………ジーン・シモンズ
ガートルード……………エイリーン・ハーリー
クロウディアス……………ペイジェル・シドニー
ホレイショ……………ノーマン・ウーランド
レアティーズ……………テレンス・モーガン

《1948年作品 上映時間 2時間40分》



☆数々の映画賞に輝く不滅の名作！シェイクスピア劇の最高峰サー・ローレンス・オリビエの「ハムレット」

この作品は、「ヘンリー五世」について、世界の名優ローレンス・オリビエが製作・監督・主演した映画です。

公開と同時に、大変な反響を呼び起こし、その素朴で重厚なセッティングの中に、中世の心理悲劇の崇高なまでの画面構成は、数々の映画賞を獲得しています。

1948年のアカデミー賞では、作品賞、主演男優賞、美術監督賞、装置賞、衣裳デザイン賞を獲得、同年のベネチア映画祭でもグランプリ、撮影賞、イタリア批評家賞を授賞。まさにこの年は、オリビエの「ハムレット」で尽きると云っても過言ではないでしょう。

☆「黒水仙」等のジーン・シモンズが演じるオフェリアの美しくも悲運な愛

ハムレットの恋人オフェリアには、「黒水仙」、「大いなる遺産」等のジーン・シモンズが扮し、見事な演技を見せています。

恋人ハムレットに、自分の父親を殺され、発狂のうちに溺死していくオフェリア。この難しい役柄をシモンズは熱演、やはり1948年のベネチア映画祭で、女優演技賞を授賞しています。この作品は、ジーン・シモンズの出世作でもあるわけです。

☆今でも語りつがれる名言の数々

シェイクスピアの戯曲は、格言となつた数々の名セリフがあります。この「ハムレット」でも幾つかあります。中でも次の二言は有名です。

ハムレット 生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ。いづれが貴いと云うのだろう。残酷な運命の矢弾をただ忍ぶか、あるいは……

(オフェリアに向かって、狂気の如く)
ハムレット 弱き者、汝の名は女なり。オフェリアよ、尼寺へ行け。なぜ罪な人間を生み

たがるのだ。おれなどばかりまっとうな人間のつもりだが、それでも……

この映画を見た日本の代表的シェイクスピア劇俳優の皆さんは……

平 幹二朗さん

詩情漂うオリビエのハムレット。荒々しくも、若々しくも、思索的にも様々なハムレットたり得る演じ方があるなかで、オリビエのハムレットは私の好きなタイプです。

市川染五郎さん

地に根を張った、ゆるぎない力強さを感じさせてくれる、まさにオリビエの映画です。シェイクスピアが世界に好まれ、歌舞伎十八番が喜んでいただけるのは、このゆるぎない普遍性があるからではないでしょうか。

山本 圭さん

芝居が時代を写す鏡であるならばオリビエの演じたハムレットもまさにあの時代の典型を表現したことになる。最初に見た時の鮮烈な印象は時の流れと共に変ってきたけれど、この芝居の面白さを映画的に表現した見事さは永久に評価されるにちがいない。

市原 悦子さん

ハムレットの狂気は、隠された真実の証しを手に入れるために。オフェリアの狂気は、果されぬ恋の純真を守るために。困難な状況を生きて、自分の真情に燃えつきた二人の姿は、深く私の胸をつきます。

影 万里江さん

オリビエのいかにも舞台の人らしい重厚な演技と、ジーン・シモンズの可憐なオフェリアが強く、印象に残っております。

山口 果林さん

オリビエの「ハムレット」は新しい言葉でしか語れない世界です。オリビエはそういう新しい言葉を知っている数少ない俳優の一人だと思います。

感動と魅惑の5時間！同時上映 モイラ・シアラーの「赤い靴」

正月ロードショー！お得な特別鑑賞券発売中！（劇場窓口及プレイガイド）

銀座 7938
目 7938
テアトル銀座 (561)

地下鉄京橋駅下車